

競馬鑑賞会に参加して

昭和57年法学部卒 山本 則明

今年の競馬鑑賞会は11月11日(土)に開催された。1が4つも並ぶ縁起の良い日。

小生は当日の東京競馬場正門前9時10分待ち合わせに間に合うよう、前日から何時の電車に乗ろうか、いろいろとネットを見ながら思案していた。府中本町駅から歩くと30分くらいかかる、空腹でお酒を飲みたくないため朝食の時間が必要、というプレッシャーから朝5時前に起きてしまった。会社をリタイアしてからそんな早く起きるのは久々。それくらい楽しみなのである。府中本町駅から出ると高架の専用歩道がある。途中で下に降りて緩やかなワインディングの銀杏並木を歩く。黄葉が始まっていて何処かヨーロッパのようだ。清掃が行き届いていて実に気持ちが良い。正門前で皆さんの到着を待ちよいよ中へ。7階のお部屋に通していただき、レースがスタート。小生は水割りを飲みながら途中で買った競馬新聞を見つつ勝馬投票券を買っていく。皆さん、それぞれあれやこれやと予想しながら話しながら、またお昼にはお弁当を食べながら予想して馬券を買うのである。女性の方にはコーヒーとケーキがでた。

予想がはずれることの方が圧倒的に多いが皆さん熱くならず冷静に楽しまれているのはさすがに大人だなと思った。それでも当たった方からは寄付金をいただいたりした。

画面だけでなく競走馬が走るのを直に見れるのは感動する。現場にいる有り難さである。このような貴重な非日常の時間を提供していただき本当に感謝しています。ありがとうございました。来年も是非開催していただければと思っています。

余談ですが、小生宅の近所にJRAさんの馬事公苑がある。11月3日にリニューアルオープンしたばかりである。その中に「人馬一如」という石碑がある。人馬一体と同じ意味だが、競走馬を見ていて改めて思い起こした。皆様、リニューアルオープンした馬事公苑には是非一度足をお運びください。



関東大学ラグビー明早戦観戦記

昭和56年商学部卒 五十嵐武

今年もやってきた、12月第1日曜日は大学ラグビー明早戦だ。毎年12月が近づくと、我が夫婦はクリスマスより国立競技場のラグビー観戦が待ち遠しい。入学して初めて応援した国立競技場の明早戦は4万人を超える観客、何と故郷福島会津の喜多方市の当時の人口を超える観客がそこに居るのにはびっくりしたのを覚えている。今年も明大ラグビー部創部100周年、明早戦99回目となり、国立競技場は盛り上がった(入場者数42,449名:国立競技場公表数)。

前半は一方的に明治の力を見せつける試合となった。後半スピードを生かす早稲田が8点差まで追い上げ、冷や冷やさせられる場面もあったが、終わって見れば58対38で明治の大勝利となった。

試合終了後、今年も夫婦で神宮外苑の銀杏並木、表参道のイルミネーションを散策し帰宅、ふるさと納税の返礼品、越前蟹を肴に明治に乾杯した。

結婚前、妻と行った明早戦、高校の同級生(早大卒)と行った明早戦、会社の後輩(明大卒)と行った明早戦、昨年は福島市から駆けつけてくれた高校の同級生(明大卒)と行った明早戦。今年もそこにいる明大生の自分に酔いしれた。

大学ラグビー明早戦には不思議な雰囲気がある。

